

# 予算特別委員会のもよう

## 予算案に対する各会派等の主な意見

### 賛成 自由民主党

DXの推進による、区民の利便性向上、質の高い区民サービスの提供及び効率的な区政運営を実現する上で、業務の選択と集中による行財政改革の推進を求める。

キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業について、過去の事業実績から、費用対効果の面でも有効性が実証された。来年度も積極的に取り組むよう強く求める。

子育て世帯等の確実な定住を目的し、子育て世帯等定住促進事業及び妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援「墨田区版ネウボラ」の推進、医療的ケア児に対する保育園等での対応改善を含む支援の充実等を求める。

新型コロナウイルス「5類」への移行後、区民生活に混乱が生じないように、しっかりとした対応策を望む。

### 反対 日本共産党

長引くコロナ禍と物価高騰の下、命と暮らしを守る緊急対策が強く求められるが、予算案には、区民の負担軽減を図る新規事業がほとんどない。暮らしに冷たい行財政運営は改め、基金等を活用して区民の負担軽減を図り、暮らしと営業を守る予算に組み替えるべき。

学校給食費は、学校への納付経費の中で最も高く、子育て世帯の重い負担となっている。無償化に踏み出すよう強く求める。

国民健康保険料について、国への要望事項を実現するために実効性のある取組を求める。また、区独自でも負担軽減策を講ずるべき。

就学援助について、支給額引上げや援助項目の拡大を早急に行うとともに、所得基準額を大幅に引き上げるよう強く求める。

### 賛成 公明党

社会経済状況の変化に的確に対応し、施策を効果的、効率的に実施するため、事務事業の見直しや改善に向けた取組など、不断の努力に徹し、弾力的な補正予算の編成、執行となるよう強く求める。

要望していた証明書郵送請求のキャッシュレス化は評価するが、申請のオンライン化を視野に入れ、より一層の効率化を図ること。また、DX化の推進により窓口改革の加速化を要望する。

ニーズ対応型おくやみコーナーの設置等、これまで指摘・要望してきたものが予算案に一定程度反映されたことは評価する。

重要な事項として指摘した、インクルーシブ保育の充実、福祉避難所の体制整備等については、改めて要望する。

### 一部賛成 一部反対 立憲民主党

立憲民主党墨田区議団は、物価高騰等による危機的現状に対し、「民間が弱っているときは公が助ける」ことが最重要と考える。このような現状において、国民負担を増やすようなことはするべきではないため、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各特別会計予算には反対する。住民の暮らしを守る予算にするよう強く求める。

### 賛成 墨田民主クラブ

申し述べた意見や要望は、区民の声として受け止め、指摘した点を十分しんしゃくの上、今後の行財政運営に反映することを強く望む。

依然として新型コロナウイルスや物価高騰による区民生活への影響は不透明で、先行きを見通すことは困難だが、社会経済環境を注視し、区民への影響を見極め、引き続き必要な支援策に取り組んでほしい。

### 賛成 新しいすみだ

洪水と地震への対策は、本区の最優先課題である。避難所の準備運営に万全の準備を求める。また、古い耐震基準の住宅等についても対策が必要である。

本区では外国人が増え、今後は更なる増加が予想される。外国人と日本人が共生していく墨田区を実現するため、多文化共生事業の活性化を要望する。

### 反対 革新すみだ

介護保険制度について、国庫負担の割合増を国に求めるとともに、介護サービスの利用控えが起らないよう、区が積極的に負担軽減策を講ずるよう強く求める。

小・中学校の給食費無償化について、国の責任で無償化に踏み出すよう、更に強く求めるべき。また、区独自で負担軽減・無償化を行うよう求める。

### 賛成 すみだの絆

給食費無償化について、都内で既に9区が予算計上しており、こうした動きが国を動かす。本区もしっかりと議論を深めてほしい。

元気高齢者施設が区南部にないことは大きな問題である。コロナ禍で高齢者のフレイル等が多いと聞く。また、高齢者のデジタルデバイス対策推進のためにも、南部への設置について検討を求める。

一般会計	1,268億7,200万円
国民健康保険特別会計	282億3,400万円
介護保険特別会計	226億7,300万円
後期高齢者医療特別会計	67億6,500万円

## 主な質疑

鐘ヶ淵駅周辺地区の防災まちづくりについて

**問** 鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画の改定に当たり、ワークショップ等を行って住民の声をしっかりと聴くということであるが、具体的にどのような取組を行い、地域の声を生かしていくのか。

**答** 本計画の改定では、あらゆる機会を捉えて、住民との意見交換を重ねていく考えであるが、将来像やまちづくり方針がまとまった際等の節目となる段階で、パネル展等を開催し、その都度、住民の声を反映させながら改定作業を進めていきたい。

行政のデジタル化推進を

**問** 区民の利便性向上のため、書かない窓口のより一層の推進を求める。また、既に実施している自治体の多くは、財源として国の交付金等を活用している。本区でもできるだけ自治体負担の少ない導入を求める。

**答** 現在、窓口において書くものは、法令の規定があるものを除き、必要最低限の範囲に抑えるよう精査しているところである。今後、全庁的に連携を取りながら、更なる検討を進めていきたい。

公衆浴場への支援について

**問** 燃料費高騰が続き、区内の銭湯の経営が非常に苦しい状況が続いている。公衆衛生の担い手でもある銭湯に対する今後の補助について、どのように考えているのか。

**答** 公衆浴場の環境整備について、令和5年度予算においても、増額を考慮しており、今後、状況を注視しつつ、意見交換等もさせていただきながら、対応を考えていきたい。

HPVワクチンの周知は分かりやすく行うべき

**問** HPVワクチンの接種率が大変低い。現状のワクチンの説明文は分かりにくい。接種率向上のためにも、接種対象である12歳の生徒等でも分かりやすい文章で、周知等を行うよう求める。

**答** 4月から9歳のワクチンが使えるようになるため、接種を待っている方も一定数いると認識している。分かりやすい周知となるよう、ホームページへの掲載の仕方や使用する媒体、文言等について、工夫していく。

積極的に新規観光施策を

**問** 昨今の円安により、インバウンド需要が高まっており、本区の魅力を発信する好機と考える。本区の相撲やスカイツリー等の魅力あるコンテンツを生かし、新規の観光施策を積極的に講ずるよう求める。

**答** スカイツリーや両国等からの回遊性を向上させる仕組みづくりが必要と考えており、相撲協会とも包括連携協定を結び、観光振興という観点で連携を図っていきたくと考えている。また、外国人の方を対象とした事業にも、引き続き取り組んでいきたい。

## 主な委員間討議

委員会での質疑内容を対象とし、事実確認及び合意形成を行うことを目的に、委員間討議を行いました。

選挙における投票所の配置基準について

選挙権の保障の観点から、投票所の配置基準の見直しを選挙管理委員会に求めることについて

【主な意見】

- 有権者の視点に立ち、どのような投票所の配置が望ましいのか、議論・調査を行うべきか。
- まずは実態調査を行い、一定の考え方を整理する必要があるが、議会としての啓発等、区民が選挙に関心を持つための取組を行うことも必要である。

おたふく風邪ワクチン及び小児インフルエンザワクチンについて

各ワクチンについて、接種の優先順位を検討し、早期に助成を行うよう区に求めることについて

【主な意見】

- 前向きに検討し、早めに結論を出して進めてもらいたい。
- 国等の動向を注視し、慎重に考えていくべきである。

学校給食費の無償化について

学校給食費を区の独自財源によって無償化することについて

【主な意見】

- 様々な議論があるため、慎重に判断するべきである。
- 特に物価高騰等により、待たなしの課題となっている。直ちに無償化に踏み出すべきである。

令和4年度定例会2月議会 議決議案等の審議結果 ○賛成 ×反対

一 議長のため採決に加わらず
※1 公明党は3月24日の本会議で1名欠席
※2 採決の結果、可否同数であったため、議長裁決により議決

Table with columns: 件名, 会派名等 ( )内は所属議員数, 議決結果. Rows include budget items and various ordinances.

12月緊急議会 議決議案の審議結果

区長提出議案1件について、全会一致で可決されました。

予算 令和4年度墨田区一般会計補正予算(議案第71号)



12月緊急議会のようす

12月緊急議会

出産・子育て応援交付金給付事業費等を計上した「墨田区一般会計補正予算」を全会一致で可決

墨田区議会は、令和4年度定例会12月緊急議会を12月28日に開会しました。この緊急議会は、原油価格・物価高騰等総合緊急対策として、介護・障害福祉サービス等事業者支援金給付事業費の追加及び出産・子育て応援交付金給付事業費を計上した補正予算(3億400万円)を審議するため、緊急的に開いたものです。

墨田区議会は、令和5年2月6日にトルコ南部で発生した地震の被災地を支援するため、2月17日に、議員有志から募った義援金6万円を、日本ユニセフ協会を通して、被災地へ送りまし

義援金を送りました

会派等の所属議員

Table listing party names and their members. Columns: 略称, 会派名等, 所属議員名(五十音順).

行政調査の受入状況(令和4年下半期)

墨田区議会では、議会関係者の行政調査の受入れを積極的に進めています。令和4年下半期は、10自治体が行政調査に訪れました。

Table showing administrative survey reception status. Columns: 来訪日, 自治体名/調査項目.